

第2期加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の全体像

第2期総合戦略 令和3（2021）年度から令和8（2026）年度までの6か年

第2期加古川市人口ビジョン

- (1)令和7（2025）年の目標
⇒ 25万5千人程度を新たに設定
- (2)令和42（2060）年の目標
⇒ 20万人程度を新たに設定

第1期総合戦略の検証

(1)人口目標における現在の状況

ア.人口（令和2（2020）年）
 目標 265,954人
 実数 261,610人
 イ.原因の分析
 転出者>転入者
 特に0～14歳、20～44歳の若い世代、子育て世代の転出が多い

(2)基本目標の達成状況

- ①若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ◆出生数：未達成
 - ◆婚姻数：未達成
- ②暮らしの安全・安心を守るとともに、地域と地域を連携する
 - ◆刑法犯罪発生件数：達成
 - ◆交通人身事故発生件数：達成
- ③地域への新しい人の流れをつくる
 - ◆転入者数：達成
 - ◆転出者数：未達成
- ④地域における安定した雇用を創出する
 - ◆新規求人数：未達成
 - ◆就業者数：-

第2期総合戦略の方向性

1. 解決すべき重点課題

- ・合計特殊出生率の改善
- ・20～44歳の転出超過数の改善

2. 重点施策

- ・子育て施策のさらなる充実
- ・しごと（働く場）の創出
- ・地域活力のさらなる向上

3. 基本目標と施策体系

- ・メインターゲットは20～44歳と子どもたち
- ・「子育て」と「しごと」にフォーカス
- ・“ひと” “しごと” “まち” を軸とした基本目標と施策体系に見直し

目指す方向性 未来への活力があふれるまち

全体目標指標

- ◆合計特殊出生率 目標値：1.61
- ◆20～44歳の転出超過数 目標値：1,430人

基本目標1 “ひと” 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまち

基本目標指標

- ◆出生数
- ◆加古川市が子育てしやすいまちとを感じる市民の割合

施策

- (1)安心して結婚・出産できる環境をつくる
- (2)安心して子育てができる環境をつくる
- (3)魅力的な教育環境をつくる
- (4)子育てと仕事の両立を支援する

基本目標2 “しごと” いきいきと働けるまち

基本目標指標

- ◆ハローワーク加古川管内の就職件数

施策

- (1)若者等の就労を支援する
- (2)地域企業の成長を支援する
- (3)起業・創業の促進や企業誘致を図る
- (4)多様な働き方を支援する

基本目標3 “まち” 住みたいまち、行きたいまち

基本目標指標

- ◆転出超過数
- ◆加古川市に住みたいと思う市民の割合

施策

- (1)安全・安心なまちをつくる
- (2)暮らしやすさを実感できるまちをつくる
- (3)楽しめるまちをつくり、人の流れをつくる
- (4)地域連携・官民等連携により元気・魅力を高める
- (5)市のイメージアップや認知度の向上を図る

第2期加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の具体的施策

基本目標1

“ひと” 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまち

(1)安心して結婚・出産できる環境をつくる

- ・結婚を希望する人への出会いの場の提供
- ・新婚・若年層世帯への経済的支援
- ・妊婦、出産後の母親が集える場所や相談体制の充実
- ・経済的負担の軽減
- ・産前・産後のサポートの充実
- ・不妊・不育症治療に対する助成
- ・専門相談機関との連携

(2)安心して子育てができる環境をつくる

- ・子育て世帯を応援する機運の醸成
- ・多子世帯の子育てへの負担軽減
- ・こども医療費の無償化等の経済支援
- ・孤立感の解消
- ・子育て支援情報の積極的な発信
- ・保育の量の将来予測と地域バランスを考慮した保育定員の確保
- ・ICT（情報通信技術）活用による保育の質の向上、子どもたちの安全確保、保護者の負担軽減
- ・子育てプラザの充実

(3)魅力的な教育環境をつくる

- ・「協同的探究学習」を核とした授業づくりによる「わかる学力」の向上
- ・小中一貫教育や義務教育と就学前教育との連携
- ・ユニット単位での学校運営協議会の設置
- ・生きた英語に触れる機会の充実
- ・Society5.0時代に向けた、一人一台のパソコン端末等のICT活用
- ・トイレの洋式化等の老朽化した校舎の維持補修や長寿命化対策の推進
- ・安全で栄養価の高い給食の提供体制の確保

(4)子育てと仕事の両立を支援する

- ・男性の積極的な育児休業取得や育児・家事参加の促進
- ・誰もが働きやすい職場づくりの促進
- ・ライフスタイルに応じた柔軟な働き方の啓発

基本目標2

“しごと” いきいきと働けるまち

(1)若者等の就労を支援する

- ・インターンシップの促進による地域企業の魅力を知る機会の創出や若者の市内定着の促進
- ・地域企業と求職者とのマッチングを目的とした合同就職面接会の開催支援
- ・地域企業の人材確保を目的とした、企業情報の大学等への発信及び学生と企業との交流会の実施
- ・就農希望者に対する育成支援

(2)地域企業の成長を支援する

- ・商工会議所や金融機関と連携した事業継続支援
- ・販路開拓に向けた企業等のマッチングやマーケティング活動の支援
- ・ICT・IoT等の先端技術の導入・活用、新製品開発、新たなサービス創出への取組の支援
- ・商工会議所や金融機関における事業承継等の経営相談
- ・農業の6次産業化、地産地消、地域ブランド化の促進
- ・外国人材の活用支援による地域企業のグローバル化や労働力の確保

(3)起業・創業の促進や企業誘致を図る

- ・商工会議所や金融機関と連携した、起業・創業に対する初期費用の支援や創業セミナーの実施
- ・新たな産業用地創出に向けた取組による優良企業の誘致や地域企業の事業拡大
- ・企業立地促進奨励金制度や優遇制度による工場等の新設・増設などがしやすい環境づくり
- ・空き店舗等の利用促進

(4)多様な働き方を支援する

- ・サテライトオフィスの開設やコワーキングスペースの整備による「職住育近接のまちづくり」の推進
- ・ICTを活用した柔軟な働き方に対する意識改革の促進
- ・リモートワークの推進等の多様な働き方の支援
- ・働き方改革の重要性の周知・啓発
- ・仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けた取組の推進

基本目標3

“まち” 住みたいまち、行きたいまち

(1)安全・安心なまちをつくる

- ・見守りカメラの効果的な運用と見守りサービスの普及
- ・交通ルール・マナーの遵守及び交通安全意識の向上
- ・兵庫県立加古川医療センターや加古川中央市民病院との連携、（仮称）休日・夜間急病センターの設置による医療提供体制の充実

(2)暮らしやすさを実感できるまちをつくる

- ・地域実情に応じた公共交通ネットワークの充実
- ・JR加古川駅周辺の再整備によるにぎわいの創出
- ・空き家の有効活用を図る仕組みづくりの検討
- ・ICTの積極的な活用による、新たな生活様式に対応した行政サービスの高度化、業務の効率化の推進
- ・民間事業者のノウハウの活用等による、公共施設等の効果的な再編・利用

(3)楽しめるまちをつくり、人の流れをつくる

- ・河川敷を活用した、水辺を楽しむ取組の促進
- ・観光拠点としての見土呂フルーツパークの再整備
- ・権現総合公園や日岡山公園等を生かした、若い世代、子育て世代が余暇を楽しめる場の創出
- ・観光資源の発掘、食の観光化、「棋士のまち加古川」を生かした取組の推進
- ・スポーツへの参画意欲の促進や、スポーツ大会等の開催による交流人口の拡大

(4)地域連携・官民等連携により元気・魅力を高める

- ・大学、企業、市民活動団体等との連携による関係人口の創出・拡大
- ・国・県・近隣市町との連携による効果的かつ効率的な行財政運営、行政サービスの向上
- ・町内会・自治会等の地域活動の支援
- ・市保有データのオープンデータ化と積極的な利活用の促進
- ・企業版ふるさと納税制度の活用
- ・高校生や大学生等の市内就労やUIJ ターン増加の推進

(5)市のイメージアップや認知度の向上を図る

- ・“暮らしやすい”というイメージ確立のための戦略的なシティプロモーションの実施
- ・ホームページやSNS等を通じた魅力発信
- ・農産物や特産品等のブランド化
- ・ふるさと納税制度のさらなる活用